



この地球上で、この場所で  
こうして出会えた奇跡に感謝  
こうしてかわり合うことが  
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校  
令和元年度学校だよりNo.10  
令和元年7月17日  
文責 校長 吉尾直樹

## 心をひとつに、懸命な歌声を届けました

7月14日 九州合唱コンクール長崎県予選

7月14日(日)にアルカスSASEBOで九州合唱コンクール長崎県予選が行われました。全校生徒22名で、練習を重ね、聞き手にすばらしい歌声を届け、銀賞を獲得しました。中学校の部の1番目ということで緊張するのではと心配しましたが、笑顔で、「大切なもの」と「手紙」の2曲を歌いました。1年生から3年生まで全員が力を合わせて、心をひとつにして歌う懸命さが、会場のみなさんにも伝わり、大きな拍手とたくさんの称賛の言葉をいただきました。



アルカスSASEBOリハーサル室

練習の中では、なかなかうまくいなくて悩んだこともたくさんあったことでしょう。しかし、実行委員、パートリーダーを中心にみんなで乗り越え、すばらしい歌声を創り上げたと思います。



朝から会場近くで声出ししました

け合い、楽しく歌うだけでなく目標を明確にして、練習の中で達成感を感じられるように努力しました。

本番当日、ステージに上がるまではとても緊張していましたが、ステージに上がって歌が始まると、笑顔で楽しく歌うことができました。いつもとは違う達成感を味わうことができた、すばらしい8分間のステージでした。その後、他の学校の合唱を聞くとどの学校もとても上手で、レベルが高いなあと感じました。結果発表で『銀賞』と聞いたときはびっくりしました。今まで頑張ってきたこと、自分たちの合唱の良さが伝わったことがとてもうれしかったです。だから、今年のコンクールが今までで最高のステージになりました。」(3年女子)

「コンクールは楽しく歌うことができました。最初はどうなるか心配で、上手く歌えなくて迷惑をかけているのではと毎日思っていました。でも、練習の時やバスでの移動、公園での練習の時、3年生がたくさんの声をかけてくれました。結果は銀賞でした。私は、3年生と先生が今まで教えてくれたことが力になり、笑顔で歌い、最後まで頑張れたと思います。来年は、教わった息の使い方や歌い方を後輩にも伝えて、今年を超えるような合唱にしたいです。」(1年女子)



「僕は最初、合唱は嫌だなあと思っていたけど、練習の中でどんどん音が合うようになって、合唱が楽しいと思えるようになりました。そして、パートリーダーを中心に男子全員でたくさん話し合い頑張ってきたので、最後には全員で楽しく歌えたのだと思います。来年は自分たちがリーダーとして、今以上の合唱にしたいです。」(2年男子)

特に3年生の振り返りは、全員分を紹介したいぐらいの努力とみんなで乗り越えた喜びがあふれています。本校のリーダーとしてこの1学期にがんばってきた3年生。さすがです。

